

# 令和3年度 建設現場の遠隔臨場に関するアンケート結果

関東地方整備局

## <アンケート対象>

関東地方整備局で遠隔臨場を試行した工事のうち令和2年度から令和3年9月までに完成した工事80件(うち回答40件(回答率50%))

## <アンケート実施月>

令和3年10月

## <アンケート方法>

WEB方式

## <アンケート結果概要>

- **移動時間や待機時間の削減、新型コロナウイルス感染症対策に効果を実感**
- **来年度以降も遠隔臨場の実施を希望する受注者は97%**
- 配信システムや機器メーカーにより要する費用にバラツキ等の課題が判明

## 受注者が効果を実感した項目

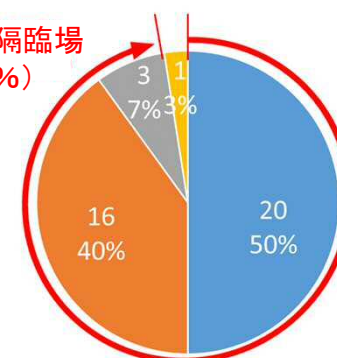


## <効果に関するコメント>

- ・遠方での工場検査(材料確認)では、大いに有効
- ・現場までの移動時間がないため監督職員との日程調整が容易

## 来年度以降の遠隔臨場の実施について

来年度以降も遠隔臨場実施を希望(97%)



- 費用を発注者が全額負担するのであれば、**継続を希望**
- 費用の一部を受注者が負担するとしても、**継続を希望**
- 費用を受注者が全額負担するとしても、**希望**
- 遠隔臨場を希望しない

## <今後における主な課題>

- 配信システム(パッケージ、ASP、WEB会議システム)や機器のメーカーにより、**要する費用にバラツキ有り**  
費用負担に関する検討が必要
- 機器メーカーにより、**発注者側PCでのセキュリティ上の通信可否に相違が生じている**  
全ての機器メーカーが発注者側PCにおいてセキュリティ上、通信可能となるよう対応が必要
- 一部、**施工条件や地理的条件において、通信不可や不安定になる箇所有り**  
(トンネル内、地下空間内等の工事や山間部での工事、上空に高圧電線ケーブルが走っている工事など)  
今後、「5G」の通信環境の普及により、更に効果的な遠隔臨場となることに期待